

トルコ印象記その2

親日家が多い その訳は？

トルコの人々は親日的だといいますが、その理由をわたしなりに推測しました。

その日本人の勇気に感激

明治三年 親善のため日本を訪れたトルコの軍艦「エルトゥール号」が、帰国の際、串本沖の熊野灘で台風の直撃を受け遭難・沈

没しました。この事故を知った串本の人々が、嵐の海の中を救助にむかい生存者を救助しました。当時、串本

の大島村民の生活は貧しかったが、村民らは貴重な二ワトリを生産者の食料として提供。また衣服や日用品なども与えました。六五名

の乗組員の内五八一名が殉職しましたが、生き残った

六九名は神戸市内の病院で本格的な治療と手厚い看護を受け、日本の軍艦「比叟」と「金剛」に分乗して祖国トルコへの帰還を果たしました。

トルコの人々はこの日本人の勇気と親切に感謝しているといえます。このことはトルコの歴史教科書に掲載されており、トルコ人なら子供でも知っています。

串本にはトルコ軍艦遭難記念碑が建てられています。串本に行つたときに訪れてみてはいかがでしょうか。

その大國ロシアに勝利

一〇世紀初頭、極東の小国であつた日本が大國ロシアと戦争をしました(日露戦争 一九〇四年 五年)。

東郷平八郎ひきいる連合艦隊は、当時世界最強といわれたバルチック艦隊と日本海で戦い、これを撃破しました。タイムズ紙などの有力紙は事実確認のために報道を遅らせたといえます。

串本町にあるトルコ軍艦遭難記念碑

和歌山県東牟婁郡串本町樫野一 二五 二六にあるトルコ軍艦遭難記念碑。五八一名の犠牲者の慰霊のための遭難碑です。当時の資料を展示するトルコ記念館があります。



トルコの人々は日本の成功を賞賛

その他 日本は明治の開国以来、工業化にとりくみ自動車や電気製品など優秀な工業製品の輸出国になりました。トルコはかつては大帝国でしたが、国際的な地位は高くありません。国民の四〇%が農業に従事しており、繊維や衣類などの軽工業が中心です。トルコの人々は日本の成功を賞賛しています。(つづく)

(もり としあき)

続



サイエンティストの目

森 利明

(もり としあき)

大阪府立大学 先端科学イノベーションセンター